

会員だより

弥生文化博物館 “見学の感想”

大阪府弥生文化博物館は、日本初の弥生文化に関する博物館で、すぐそばに当時の人々が、暮らした環濠集落である池上曾根遺跡があります。

大阪府弥生文化博物館 1階ロビーで学芸員飯村 円(いいむらまどか)さんに、2階の常設展示室の説明をしてもらいました。展示は、弥生時代のこと



常設室ではマスクをし、
貫頭衣を着た弥生夫人
像がお出迎え!

音声ガイドのイヤホンを借りる)、館内を行ったり来たりして見学しました。

復元した竪穴住居の中

は、当時の暮らしがありました。真ん中には炉が作られ、まわりに土器、出入り口には犬もおりました。家族団らんの温かみを感じました。



春の水田
鋤や鍬を使い踏耕をし、
右の苗代から運んだ苗の
田植えもしている

る村の精巧なジオラマの風景です。まず村人が大勢水田に出て田作りから始まり、苗代から苗が運ばれ水の張られた水田に移植されています。

まず目を引いたのは、弥生時代からはじまったとされている米つくりをす

第18回たかつきNPO協働フェスタ 今こそひろげよう NPOの輪 ～みんなの笑顔をつなげたい～ (出展作品準備お願い)

会長 大岡成一

「たかつきNPO協働フェスタ」が3年ぶりに開催されます。

○開始日時：年9月11日(日)

10時～15時

○開始場所：高槻市役所総合庁舎

1階 展示ホール・総合庁舎前

VG 槻輪は、例年通り立体展示とフリマ出店を予定しています。

○VG 槻輪の展示場所は、展示ホール中央部

○VG 槻輪のフリマ出店場所は、総合庁舎

入口右側です。

下記の準備を始めて下さい。

1. VG 槻輪活動報告

各行事の活動写真をウチワにし、見て楽しみ、手にとって観賞しよう!!

2. 展示作品準備

1) 自分のウチワ・扇子・カレンダーなどを作り出展して下さい。

2) 各種手芸品等を作成し出展下さい。

※ 楽しい作品を展示しましょう!!

会員の方には別途詳細に連絡します。

奥へ進むと村々の戦いの場面もなまなましいものでした。死者をほうむり、木棺土器棺もありました。弥生人のコーナーでは、縄文人、弥生人、古墳人の顔の比較をしていました。

「一粒のお米から米粒千粒」とよく言われるように、お米は世界に誇れる生産性とおいしい東洋の食材です。(小麦一粒から収穫できる小麦の数は、15倍〜25倍だそうです)

当時の道具類も展示されてきました。見て感じたことは米作りに関しては、現在とあまり変わりがないのではと思います。「米」という字をよく見ると「八、十、八」から成り立っていますよね。漢字からお米づくりは「八十八」(88)の工程から成ると言われています。

道具から機械へと変遷してきますが米を作る苦労は、大昔と今とかわりがありませぬ。



秋の水田
石包丁で稔った稲穂から
摘み取ります



卑弥呼の食卓
焼く・煮る・蒸す・
和える・炒める料理

美しくてかわいげで女性らしいすがたでした。なのに村々の長をかしくかせ、政治を司り、大國中国の魏に使いを出し、歴史の名を残す神秘的な女王として、君臨したことが不思議で見とれました。



鏡を揚げる
卑弥呼

でも、1番感動し、楽しかったのは、わが高槻市の安満遺跡で見た卑弥呼の実物大を見た時です。



煮たり焼いたり蒸したりして
柔らかい食べ物を食べるようになった

安満遺跡のもっと資料を読んで調べて臨めば、その良さが再認識できるだろうと思えました。

高槻を出て4時間程で弥生と令和を旅したことになります。



大型掘立柱
建物・割り抜き井戸

さらに池上曾根遺跡公園まで足をのびました。環濠の近くに大賀ハスが咲いていました。大型掘立柱建物、大型くりぬき井戸も見学しました。学芸員さんからまだまだ研究を深める余地があります。

彼女の食卓は海のもの、山のもの、いろいろのついた赤米の上デザートの甘いもの、どれをとっても現在の料亭にひけをとらないものでした。色彩的にも鮮やかで・季節感・土地柄・見事でした。

記…宝角弘枝